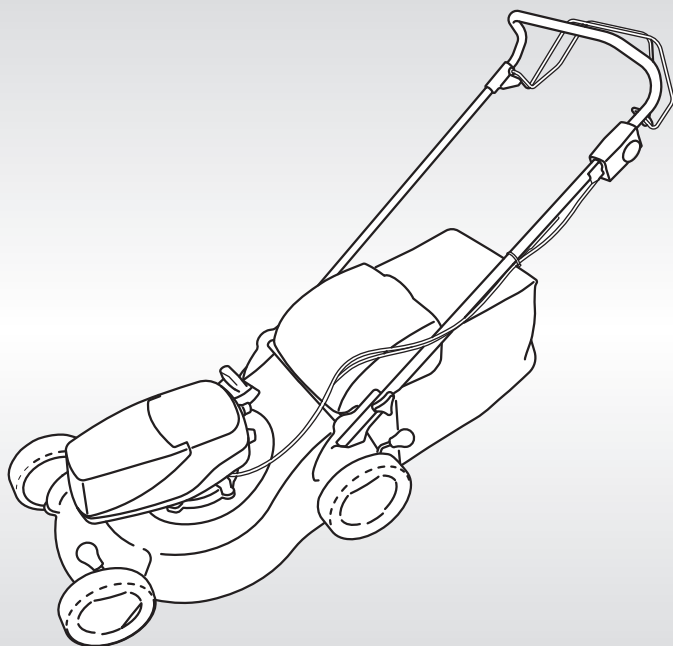


HONDA

コードレス電動芝刈機

HRG466XB

取扱説明書



ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

お買いあげありがとうございます。

お買いあげいただきました商品や、サービスに関してお気づきの点、ご意見などがございましたら、お買いあげいただきました販売店またはサービス指定店にお気軽にお申しつけください。

はじめに

この取扱説明書は、お買いあげいただいた芝刈機で安全かつ能率的な芝刈り作業をする手助けとして編集されたものです。

取扱説明書の中には、本機の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明してあります。

本機を運転する前にこの取扱説明書を良くお読みいただき、本機の操作に習熟してください。

安全に関する表示について

本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記の表示を使って記載し、その危険性を説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

⚠ 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

取扱いのポイント

指示に従わないと、本機やその他の物が損傷する可能性があるもの

取扱説明書について

この取扱説明書は

- －芝刈り作業をするときは、必ず携帯してください。
- －本機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒にお渡しください。
- －紛失や損傷したときは、お買いあげいただいた販売店またはサービス指定店にご注文ください。

なお、この取扱説明書は、仕様変更などによりイラスト、内容が一部実機と異なる場合があります。

目 次

安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう	4
安全ラベル	8
各部の名称と取扱いをおぼえましょう	9
電源スイッチキー	11
モーター操作ボタン	11
バッテリー残量インジケーター	12
クリップディレクターレバー	12
モータースイッチレバー（刈刃）	13
走行クラッチレバー	13
刈取り高さ調整レバー	14
収納袋	15
作業前に点検しましょう	16
作業前の点検	16
刈刃の点検	17
各部の締付けの点検	19
収納袋の点検	19
バッテリー取付け部周辺、モーター冷却フィンの点検、清掃	20
モータースイッチレバー（刈刃）、モーターの動作確認	21
バッテリー残量の確認	22
各部の清掃	24
バッテリーの取付けかた	25
バッテリーの取外しかた	27
モーターの始動	28
運転操作のしかた	29
1 刈取り高さの調整	29
2 刈取り芝の処理方法選択	30
3 モーター始動	32
4 運転操作	32
5 刈取り作業	33
6 収納袋の脱着	37
モーターの停止	38
定期手入れを行いましょう	40
定期点検整備項目	40

点検・整備のしかた	41
走行クラッチケーブルの点検、調整	41
モータースイッチレバー（刈刃）の作動点検	42
長期間使用しない時の手入れ	43
故障のときは	45
主要諸元	47
同梱部品の組付けかた	48

安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう

警告

あなたと他の人の安全を守るために次の指示に従ってください。

●作業を始める前に

- この取扱説明書を事前に読み、正しい取扱い方法を十分にご理解の上操作してください。
- 間違いなく取扱うために各部の操作になれ、すばやく停止する方法を習得してください。
- 適切な指示、説明なしでは絶対に誰にも本機を運転操作させないでください。また、子供には操作させないでください。事故や、機器の損傷が起こる原因となります。
- 本機を他人に貸す場合は、取扱い方法を良く説明し、取扱説明書を良く読むように指導してください。
- 過労や飲酒、薬物を服用して本機を使用しないでください。判断が鈍り重大な事故を引き起こすことがあります。
- 日常点検、整備を行い本機を常に良好な操作状態にしておいてください。不具合な状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機を損傷する原因となります。
- 作業者にはまわりの人や物に発生する事故や危険性に対する責任があります。取扱い方法をよく理解し事故の起きないように作業してください。
- 作業範囲内に石などの異物があると、刈刃の回転力により石などの異物が飛び出すおそれがあります。作業範囲内に人や動物などを近づけないでください。もし人や動物が近づいたら作業を停止してください。
- バッテリー、バッテリー接続部などに損傷などがないことを確認してください。損傷などがあるとバッテリーの焼損や感電のおそれがあります。
- 濡れた手でバッテリーを扱わないでください。濡れた手で行うと感電するおそれがあります。
- 移動などで本機を持ち運ぶときは、必ずモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを外して刈刃が停止してから行ってください。誤ってさわると大ケガをします。
- カバーやラベル類、その他の部品を外して操作しないでください。
- 誤った部品を取付けたり改造をしないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。

警告

- 衣類や頭髮、手ぬぐいなどが巻き込まれないように作業に適した服装をし、防護メガネ、作業に適した靴などを用いて作業してください。
- 夜間や悪天候などで視界の悪いときは作業しないでください。事故の危険性が高くなります。
- 放出物や衝突による事故防止のため、作業範囲内の石、空き缶、板切れなど全ての異物を取除いてください。
- 土や砂利などの上では刈刃を回転させないでください。石などの異物が飛び出すおそれがあります。
- 収納袋を取外して作業しないでください。刈取った芝や小石などが飛び出し大ケガをするおそれがあります。
- 収納袋の脱着は、必ずモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外して刈刃の回転が停止してから行ってください。刈刃カバー内の石などの異物が飛び出し大ケガをするおそれがあります。
- 本機を使用する前に必ず刈刃を点検してください。刈刃が摩耗、損傷していると破片によって大ケガをすることがあります。点検は必ず厚手の手袋を着用してください。
- 本機を使用する前に収納袋を点検してください。すり切れたり穴のあいている物、また縫い目がほころびている物は新品に交換してください。
- 本機は5℃以上40℃以下の環境でご使用ください。外気温が5℃未満になる様な環境で使用すると、防護装置が損傷し、事故を起こす可能性があります。
- 本機は芝刈り作業以外の目的で使用しないでください。故障の原因となるばかりでなく、思わぬ事故を引き起こすことがあります。
- 芝が濡れていたり、雨天のときは芝刈り作業をしないでください。転倒の危険が増します。
- バッテリーの取付け、取外しの際は電源スイッチキーが抜いてあることを必ず確認してください。
- 指定以外のバッテリーを使用しないでください。

●作業中

- モーターが始動すると同時に刈刃も回転します。手や足を刈刃カバーの上に置かないでください。刈刃は鋭くとがっていて高速で回転しています。誤ってさわると大ケガをします。
- 作業範囲内に石などの異物があると、刈刃の回転力により石飛びが発生することがあります。作業範囲内に人や動物などを近づけないでください。もし人や動物が近づいたら作業を停止してください。
- 作業中はハンドルをしっかりと持ち足元に注意して行ってください。転倒するおそれがあるので走らず本機の速度に合わせ作業してください。

警告

- 傾斜地での芝刈りは、上下方向でなく、横方向（等高線方向）に行ってください。また急な斜面では作業しないでください。転倒するおそれがあります。
- 作業以外で移動するときは走行クラッチレバーとモータースイッチレバー（刈刃）から手をはなし、刈刃が停止してから行ってください。刈刃が回転していると異物などの飛び出しにより大ケガをするおそれがあります。
- 本機を後退させるときは、まわりの人や物にぶつかったり、転倒しないよう注意してください。
- 刈刃カバー内に刈取った芝や異物が詰まったときは、速やかに走行クラッチレバーとモータースイッチレバー（刈刃）から手をはなし、必ずモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外して刈刃が停止してから行ってください。厚手の手袋を着用して詰まった芝の除去作業をしてください。
- 本機に草や木の葉を蓄積させたままにしないでください。モーターが過熱して故障の原因になります。
- 運転中は、刈取り高さの調整をしないでください。誤ってレバーを操作されると本機が動き出し大ケガをするおそれがあります。
- 作業中本機や刈刃が障害物に当たったときはすぐにモーターを停止させ、万一の始動を防止するために電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外し、損傷の有無を調べてください。損傷があった場合修理しないで再始動すると、損傷のある部品が飛び出すなどして大ケガをするおそれがあります。
- 刈刃カバーに割れや欠けなどの損傷がある場合は本機を使用しないでください。刈刃カバー内の石などの異物が飛び出し大ケガをするおそれがあります。
- 作業中、異物が刈刃カバー内に侵入したときはすぐにモーターを停止させ、万一の始動を防止するため電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外し、損傷の有無を調べてください。損傷があった場合、修理しないで再作業を始めると、部品が飛び出すなどして大ケガをするおそれがあります。
- 作業中に異常な振動や音、部品の脱落が起きたときはただちにモーターを停止させ、原因を突き止めてください。問題が解決するまでは使用しないでください。
- モーターが始動すると同時に刈刃も回転します。手や足を刈刃カバー内やその付近に近づけないでください。刈刃は鋭くとがっていて高速で回転しています。誤ってさわると大ケガをします。
- モーターを始動するときや作業中に刈刃が回転しているときは、本機の後部を持ちあげないでください。石などの異物が飛び出し大ケガをするおそれがあります。
- 刈刃が回転中は、決して本機を持ち上げたり運んだりしないでください。
- 走行クラッチレバーやモータースイッチレバー（刈刃）をひもやテープなどで固定して使用しないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。
- 本機から離れるときは、モーターを停止して電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外してください。
- 過労による事故防止のため、長時間連続の作業をせず途中休憩を取ってください。

警告

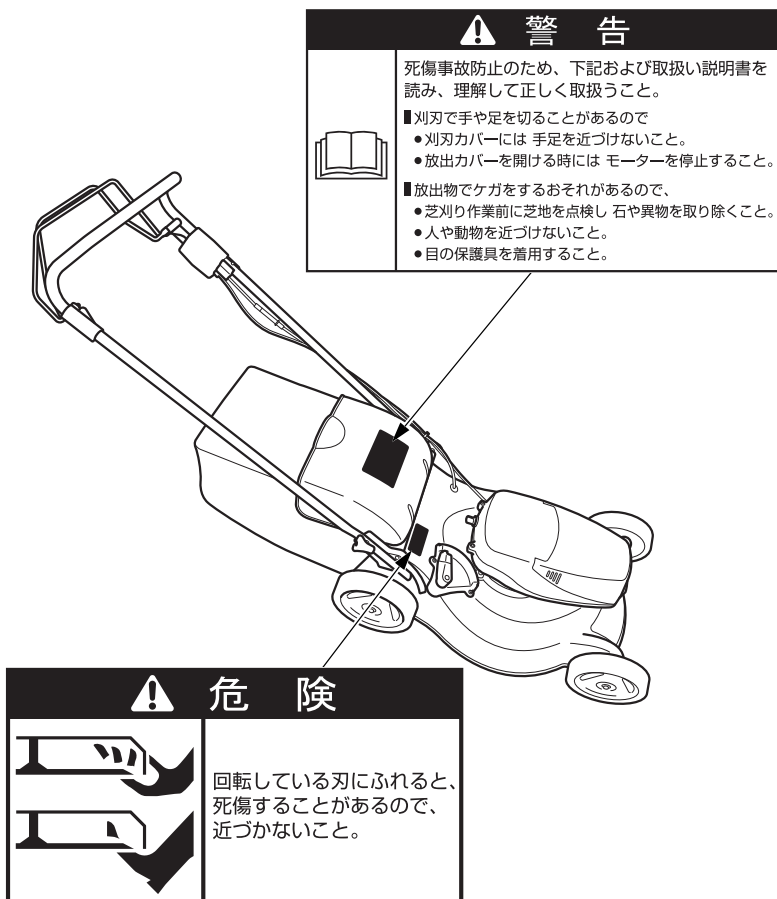
●作業が終わったら

- 作業が終わり、本機を移動する場合は走行クラッチレバーとモータースイッチレバー（刈刃）から手をはなし、必ずモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外して刈刃が停止してから行ってください。
- 各部の点検、調整、清掃を行うときは、必ずモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外して各部が十分冷えてから行ってください。またモーター部に水や異物などが入らないようにしてください。故障の原因になります。
- 長期保管時には、必ずモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外して、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。
- 車への積み降しは、必ずモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外して、必ずアユミ板を使用しゆっくり行ってください。転倒落下によりケガをするおそれがあります。
- 運搬時には、必ずモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外して、転倒や落下しないよう確実に固定してください。

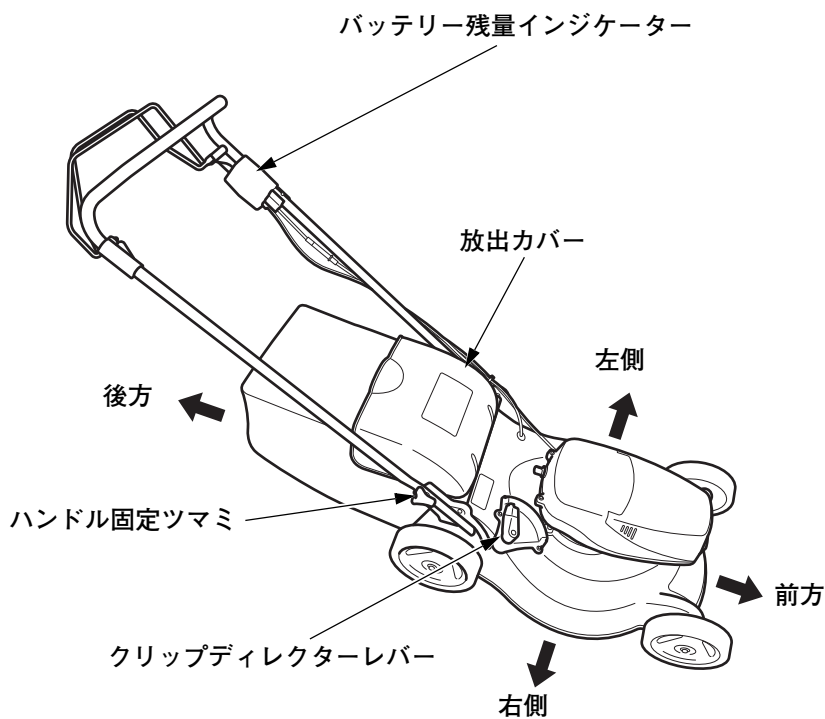
安全ラベル

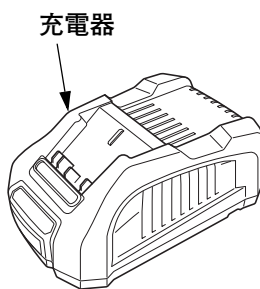
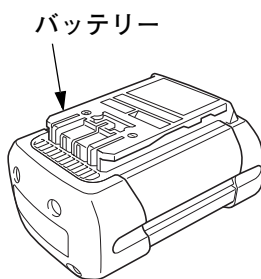
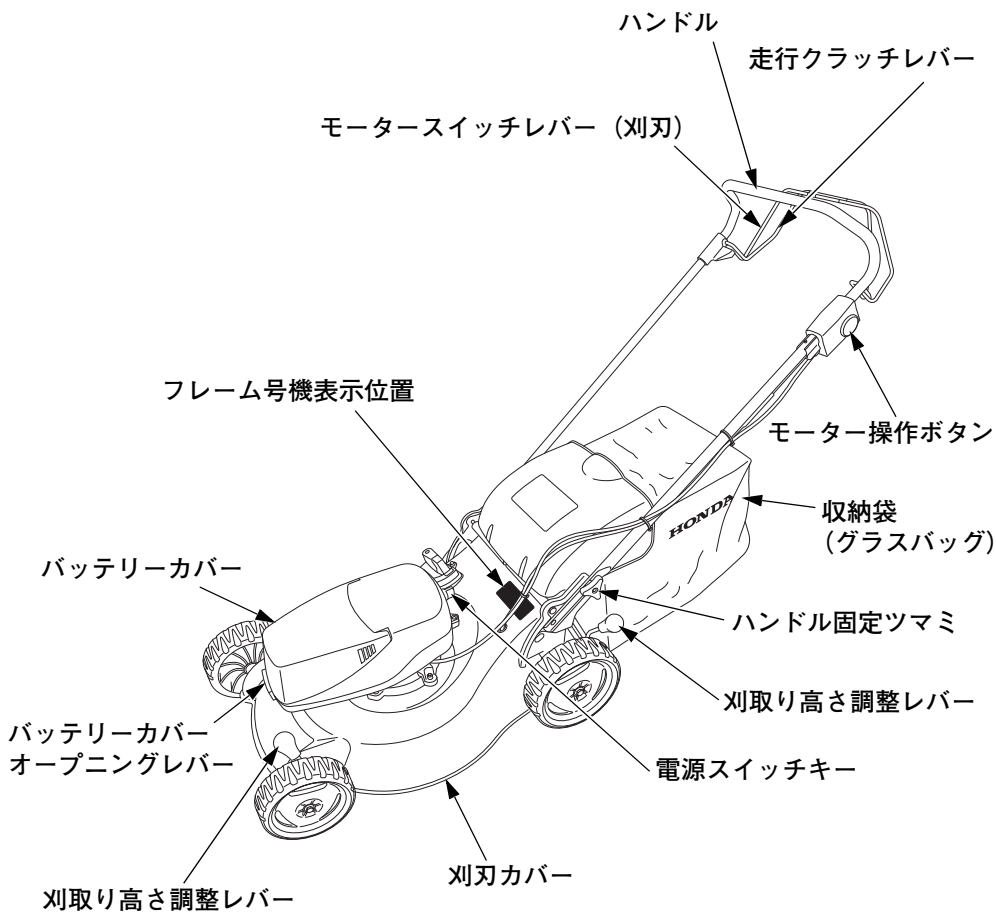
本機を安全に使用していただくため、本機には安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべてお読みになってからご使用ください。

本機に貼ってあるラベルの破れ、紛失または汚れなどでラベルが読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。また安全ラベルが貼られている部品を交換する場合は、ラベルも新しいものに貼り替えてください。ラベルの貼り替えについては、お買いあげ販売店またはサービス指定店へお問い合わせください。



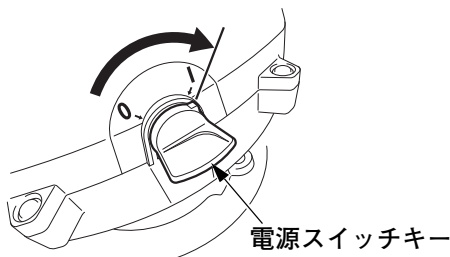
各部の名称と取扱いをおぼえましょう





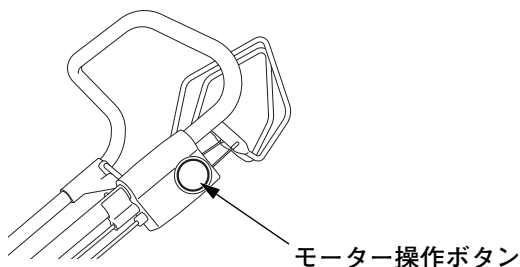
電源スイッチキー

モーターの誤作動を防ぐために、始動前と停止後に操作します。
電源スイッチキーの位置が (I) の時は、モーターを始動できます。
電源スイッチキーの位置が (O) の時は、モーターは始動できません。
操作は確実に “(I)”、“(O)” の位置に合わせてください。



モーター操作ボタン

刈刃を回転させるときに操作します。
モーター操作ボタンを押しながらモータースイッチレバー (刈刃) を握ると刈刃が回転します。

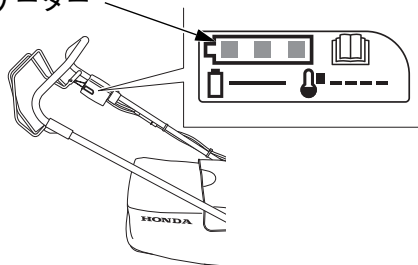


バッテリー残量インジケータ

現在のバッテリー残量を3段階で表示します。

バッテリー残量はモーター操作ボタンを押す、もしくはモータースイッチレバー（刈刃）を握ると確認できます。

バッテリー残量インジケータ

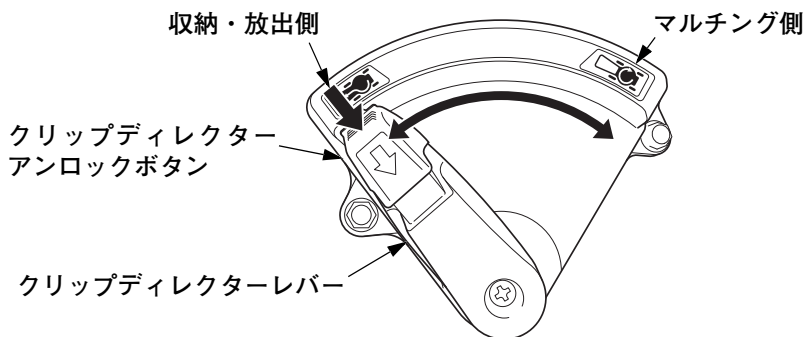


バッテリー残量はバッテリー本体でも確認できます。バッテリー本体でのバッテリー残量の確認は、バッテリーの取扱説明書をご確認ください。

クリップディレクターレバー

クリップディレクターレバーは、刈取った芝の処理で収納・放出とマルチングを変更するときに操作します。

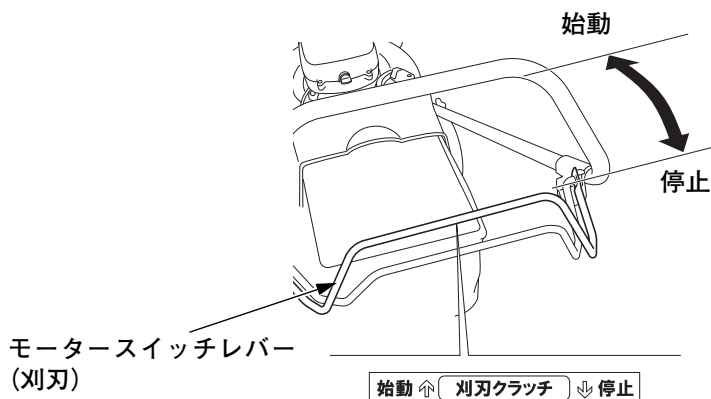
- 操作は、クリップディレクターアンロックボタンを押し下げながら移動し、収納・放出側もしくはマルチング側に合わせて行います。



マルチングとは：刈取った芝を刈取り面へ戻すことです。
(マルチングを行う場合は必ず 31、36 頁参照)

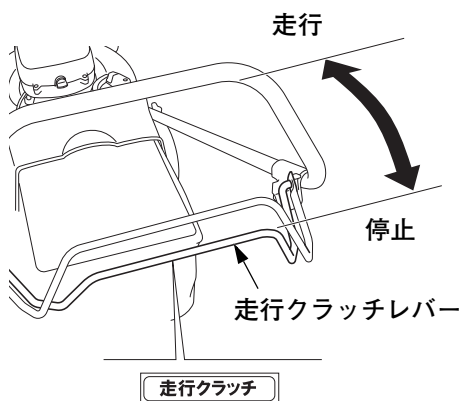
モータースイッチレバー（刈刃）

モーターを始動、停止、刈刃を回転、停止するときに操作します。モーター操作ボタンを押しながらモータースイッチレバー（刈刃）を“**始動**”の方向に握ると、モーターを始動できます。モーターが始動すると刈刃が回転します。モータースイッチレバー（刈刃）を放し“**停止**”の位置にすることでモーターが停止します。



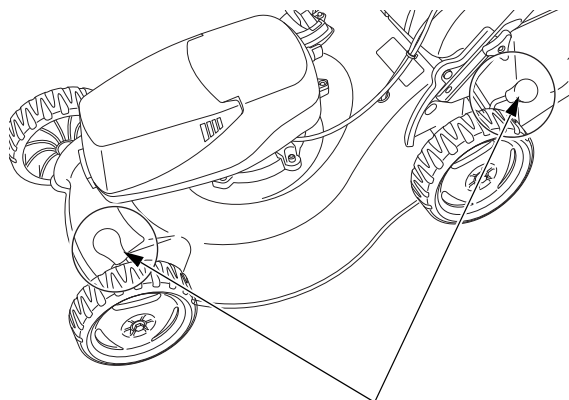
走行クラッチレバー

モーターが回転しているときに走行クラッチレバーを握ると前進し、放すと停止します。

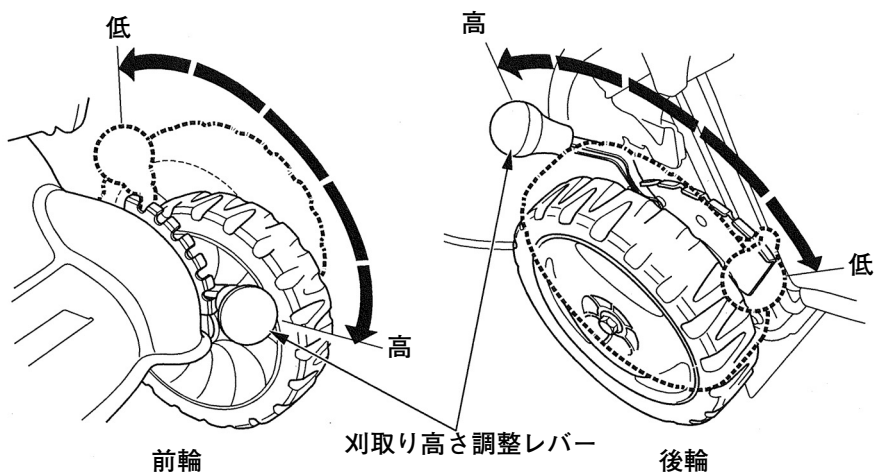


刈取り高さ調整レバー

芝の刈取り高さを調整するときに操作します。レバーを操作して位置を変えることによって6段階に刈取り高さを調整できます。
(29 頁参照)

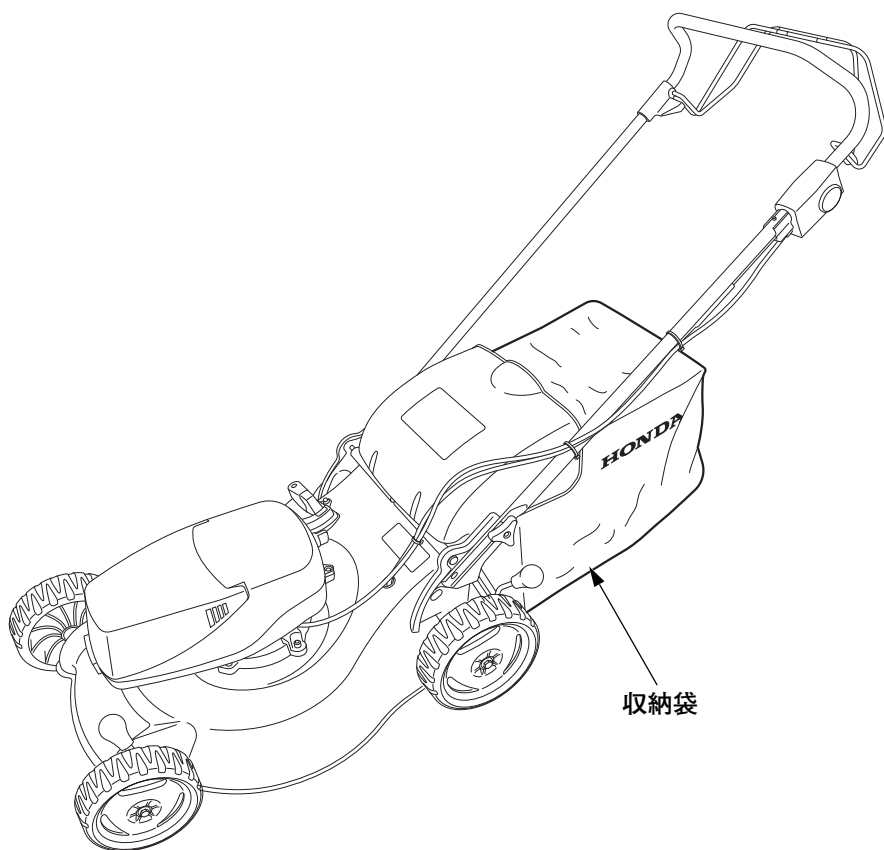


刈取り高さ調整レバー



収納袋

刈取った芝を収納する袋です。



⚠警告

点検は平坦な場所で本機を水平にしてモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを外して行ってください。不安定な場所で点検を行うと本機を損傷するばかりでなく作業員や付近にいる人に大ケガをさせるおそれがあります。

作業前の点検

いつも安心して使用するためには日常の点検整備が必要です。忘れずに行ってください。

- ・ バッテリー取付け部周辺、
モーター冷却フィン、
本機の周り ……………刈取った芝や泥などの汚れが付着していないこと。
- ・ レバーの作動 ……………引っかかりがないこと。
スムーズに作動すること。
(走行クラッチレバー、モータースイッチレバー (刈刃) の点検・調整は 41、42 頁参照)
- ・ 刈刃の状態 ……………刈刃締付けボルトにゆるみがないこと。
刈刃に割れ、欠損、曲がり、摩耗がないこと。
- ・ 各部の締付け ……………各ボルト、ナット、ハンドル固定ツマミにゆるみがないこと。
- ・ 配線、ケーブル類 ……………被覆の破れや切れがないこと。
配線、ケーブルのはさまりがないこと。
- ・ モーターの始動、停止 …モーターを始動させたときに異音がないこと。
モーターが確実に停止すること。
- ・ その他異常を感じたら、ただちにお買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。

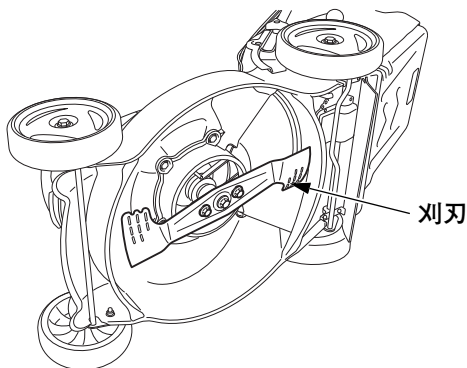
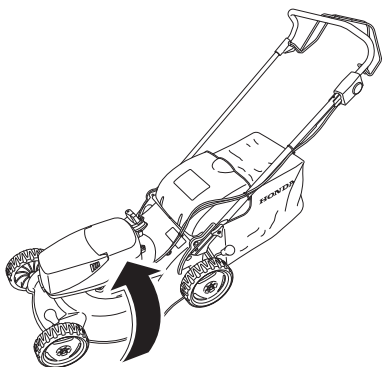
刈刃の点検

⚠ 警告

- ・作業を安全に行うために、刈刃の作業前点検を行ってください。刈刃のゆるみ、摩耗、割れ、曲がりなどを放置すると、刈刃が折損して飛び出し、作業者や付近にいる人に当るなどして重大な人身事故を招くおそれがあります。交換するときはお買いあげ販売店またはサービス指定店にご相談ください。
- ・刈刃の点検をするときは、モーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外してから厚手の手袋を装着して行ってください。刈刃でケガをするおそれがあります。

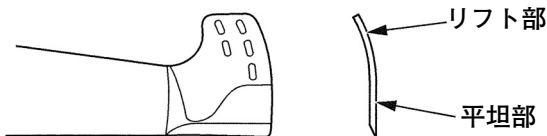
《点 検》

1. モーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外します。
2. 本機を右側に倒します。



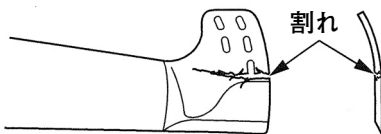
3. 刈刃の割れ、欠損、曲がり、摩耗がないことを確認します。

新品



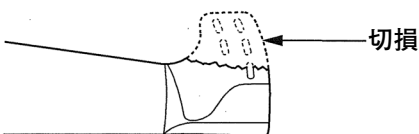
- ・ 刃先が摩耗して丸くなってきたらお買いあげ販売店またはサービス指定店で研いってください。
- ・ 下図のように異常な状態になっていたらお買いあげ販売店またはサービス指定店で交換してください。

割れ



⚠ 警告

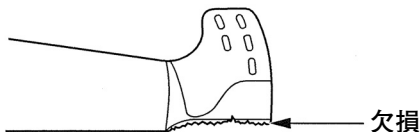
特にリフト部に割れが発生すると、リフト部が切損して飛び出すおそれがあるので使用しないでください。



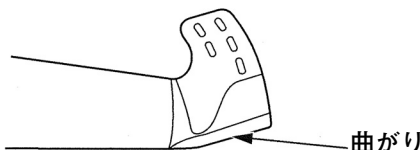
交

換

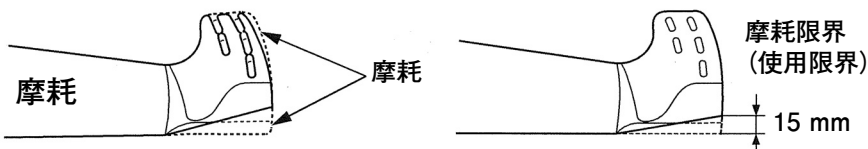
欠損



曲がり



摩耗



- ・ 乾燥した土や砂を含んだ場所で使用すると刈刃の摩耗が早いいため頻繁に確認してください。

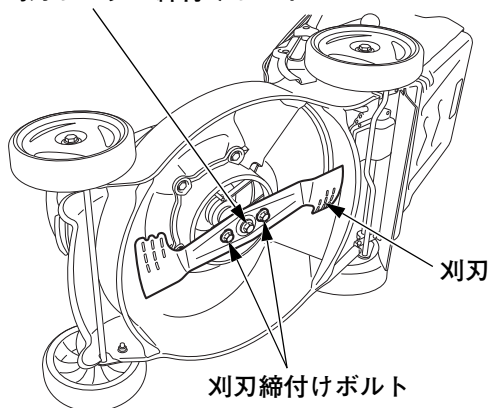
各部の締付けの点検

⚠ 警告

刈刃締付けボルトの点検をするときは、モーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外してから厚手の手袋を装着して行ってください。

- 刈刃締付けボルト、刈刃ホルダー締付けボルトの締付けが完全であること。
- ハンドル固定ツマミのゆるみがないこと。(9、10 頁参照)

刈刃ホルダー締付けボルト



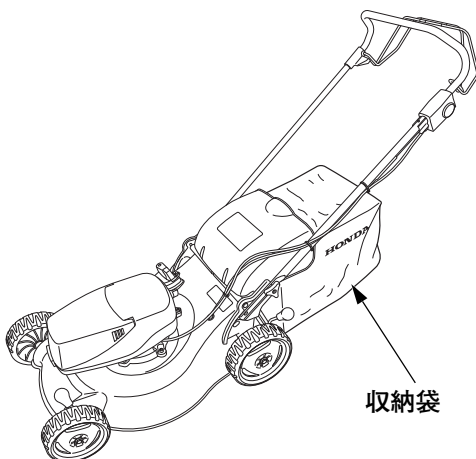
収納袋の点検

⚠ 警告

収納袋は布製です。すり切れ、破れ、縫い目のほころびなど収納袋が損傷している場合は新しいものに交換してください。石などの異物が飛散しケガをするおそれがあります。

《点 検》

1. 目詰まりがないことを確認します。収納袋が目詰まりしていると収納能力が落ちます。水洗いし十分に乾燥してから使用してください。
2. すり切れ、破れ、縫い目のほころびなど損傷がないことを確認します。
3. 確実にセットされていることを確認します。
(脱着方法は 37 頁参照)



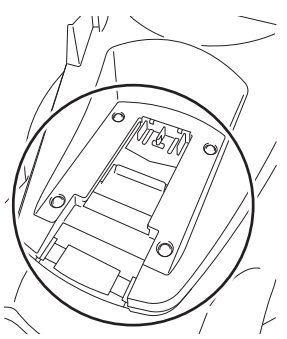
バッテリー取付け部周辺、モーター冷却フィンの点検、清掃

⚠警告

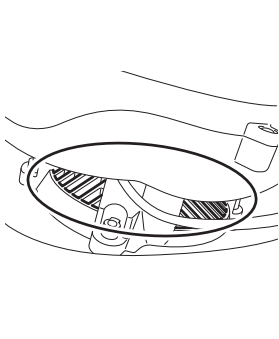
バッテリー取付け部周辺、モーター冷却フィンの点検、清掃はモーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外した状態で行ってください。

1. バッテリー取付け部周辺、モーター冷却フィンに変形や破損がないことを確認します。変形や破損がある場合はお買いあげ販売店またはサービス指定店にご相談ください。
 2. モーター冷却フィンに芝や泥などの異物や汚れがないことを確認します。
- ※モーター冷却フィンは本機の左右にあります。左右ともに確認してください。

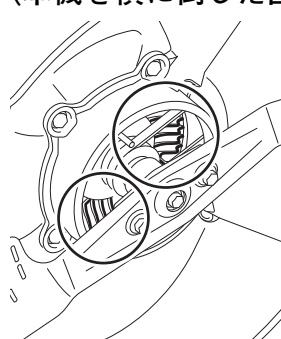
バッテリー取付け部周辺



モーター冷却フィン



モーター冷却フィン
(本機を横に倒した図)



取扱いのポイント

バッテリー取付け部周辺、モーター冷却フィンが異物や汚れなどで塞がっているとモーターが発熱し、本機の破損につながるおそれがあります。

モータースイッチレバー（刈刃）、モーターの動作確認

- ・ モーター操作ボタン、モータースイッチレバー（刈刃）が指や手を放したときに元の位置に戻ることを確認してください。
 - ・ 下記の手順にてモーターを回転、停止させて作動不良や異音などがないことを確認してください。
1. 本機を下記の条件に合った場所に置きます。
 - ・ 起伏などのない平坦な場所
 - ・ 刈刃が回転しても芝やその他のものが刈刃に触れない場所
 2. バッテリーを取付けます。
 3. 電源スイッチキーを本機に取付けて、位置を（I）に合わせます。
 4. モーター操作ボタンを押し込んだままモータースイッチレバー（刈刃）を握ると刈刃が回転します。（刈刃が回転したらモーター操作ボタンから指を放す。28 頁参照）
 5. モータースイッチレバー（刈刃）から手を放すと刈刃の回転が停止します。

注意

刈刃を回転させるときは、刈刃や刈刃カバーに身体を近付けないでください。また、本機を傾けたり、持ち上げたりしないでください。思わぬ事故の原因となることがあります。

取扱いのポイント

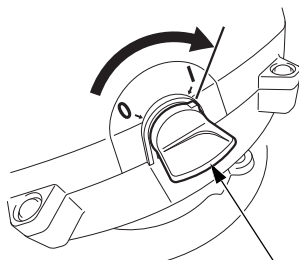
レバーの作動不良、モーターの異音があった場合は、直ちに使用を取りやめ、お買いあげ販売店またはサービス指定店にご相談ください。

バッテリー残量の確認

バッテリー残量はバッテリー残量インジケーターで確認できます。

バッテリー残量の確認はモーター操作ボタンを使用して、確認してください。

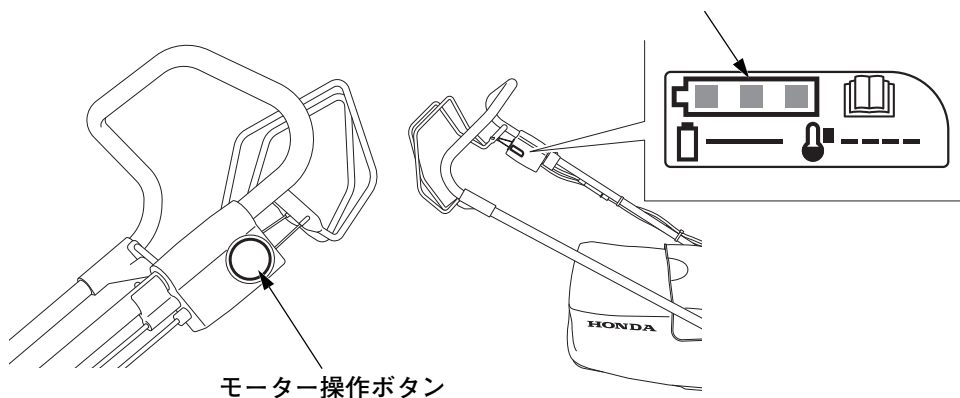
1. バッテリーを本機に取付けます。(25 頁参照)
2. 電源スイッチキーを本機に取付けて (I) の位置に合わせます。



電源スイッチキー

3. モーター操作ボタンを押してバッテリー残量インジケーターを点灯させます。

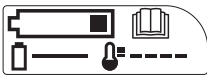
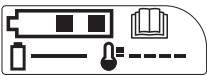
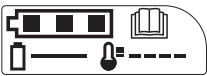
バッテリー残量インジケーター



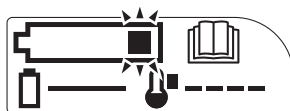
モーター操作ボタン

インジケーターは3段階で表示されます。

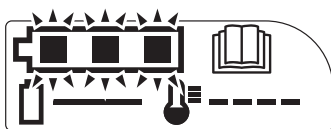
- ・インジケーターは、バッテリーだけでなく本機の状態也表示します。
- ・インジケーターは、モーター操作ボタンを押すもしくは、モータースイッチレバー（刈刃）を握ると点灯します。
- ・インジケーターは、点灯してから約48秒後に消灯します。
- ・充電状態が低いときは、バッテリーを充電してください。

充電状態	0%～30%	30%～60%	60%～100%
表示			

バッテリーの電気容量が空になると表示が1つ点滅します。



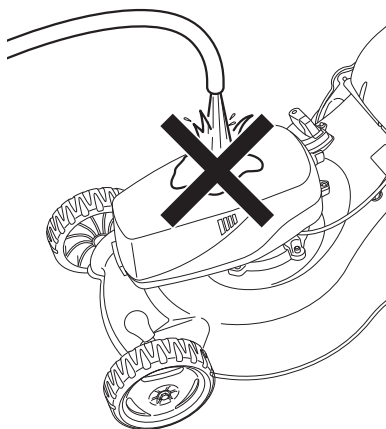
モーターもしくはバッテリーが高温になった時には、3つ全ての表示が点滅します。この状態ではモーターは動きません。



電源スイッチキーを（O）の位置に合わせて、本機を風通しのよい場所に約30～60分ほど置いてモーターを冷ましてから再度確認をしてください。

各部の清掃

- ・ 輸送または保管の前には芝やゴミなどを取り除き、必要に応じて、柔らかい乾いたブラシできれいにします。
- ・ 収納袋を掃除するには、ホースの水を使用します。高圧での洗浄をしないでください。
- ・ 性能維持のために、本機の下側を清潔に保ってください。
- ・ バッテリーの取付け部周辺を清潔にしてください。
- ・ 本機を高圧で洗浄をしないでください。またモーターや電気部品の周辺を濡らさないでください。
- ・ 本機の清掃に洗剤を使用しないでください。



バ ッ テ リ ー の 取 付 け か た

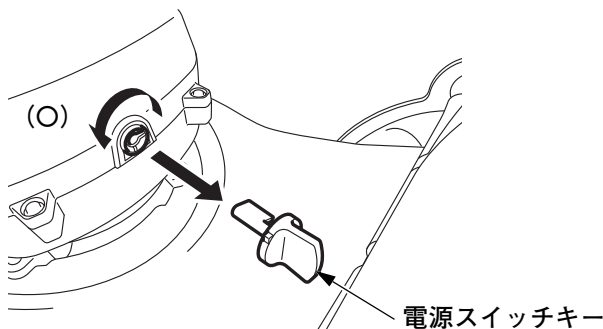
⚠ 警告

- ・濡れた手でバッテリーを扱わないでください。濡れた手で行うと感電するおそれがあります。
- ・雨天時にバッテリーを扱わないでください。感電するおそれがあります。
- ・指定以外のバッテリーを使用しないでください。

⚠ 注意

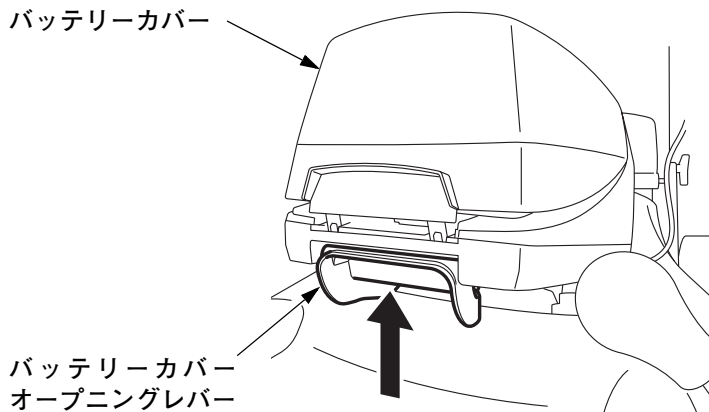
- ・バッテリーを取付けるときは必ず本機を平坦な場所に置いて行ってください。本機が転倒し思わぬ事故の原因となることがあります。
- ・バッテリーカバーを閉じるときは指をはさまないように気をつけてください。

1. 電源スイッチキーを (O) に合わせて、本機から取外します。



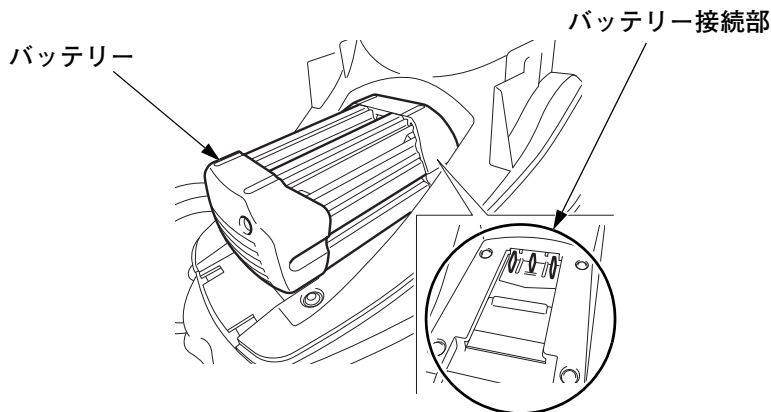
2. バッテリーカバーオープニングレバーを引き上げてロックを解除し、バッテリーカバーを開けます。

バッテリーカバー

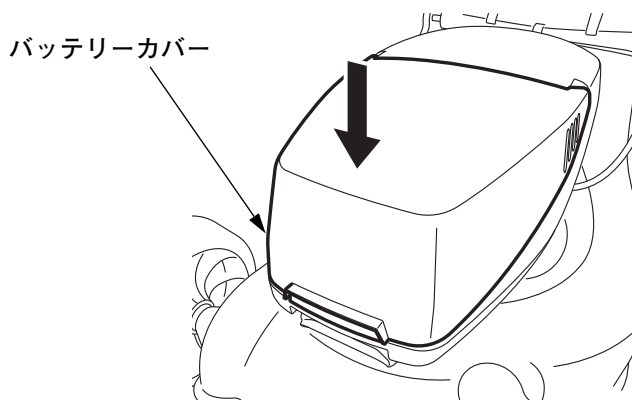


3. 接続部の周辺にゴミが無いことを確認してバッテリーを接続部に取付けます。

・カチッと音がするまで押し込んでください。



4. バッテリーカバーをしっかりと閉じます。



取扱いのポイント

バッテリーカバーを開けたときは、必ずバッテリーをしっかりと接続してから閉じてください。

バ ッ テ リ ー の 取 外 し か た

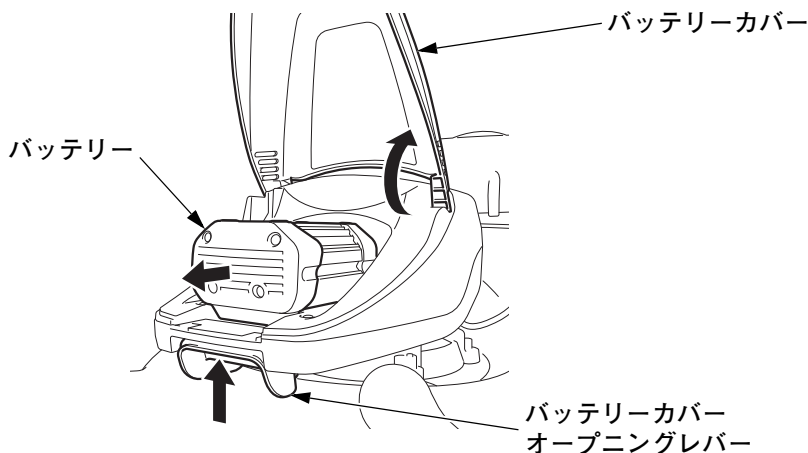
⚠ 警告

- ・濡れた手でバッテリーを扱わないでください。濡れた手で行うと感電するおそれがあります。
- ・雨天時にバッテリーを扱わないでください。感電するおそれがあります。
- ・指定以外のバッテリーを使用しないでください。

⚠ 注意

- ・バッテリーを取外すときは必ず本機を平坦な場所に置いて行ってください。本機が転倒し思わぬ事故の原因となることがあります。
- ・バッテリーカバーを閉じるときは指をはさまないように気をつけてください。

1. 電源スイッチキーを（O）に合わせて、本機から取外します。
2. バッテリーカバーオープニングレバーを引き上げてロックを解除し、バッテリーカバーを開けます。
（バッテリーカバーオープニングレバーを引き上げるとバッテリーが自動的に接続部から外れます。）



3. バッテリーを取外します。
4. バッテリーカバーをしっかりと閉じます。

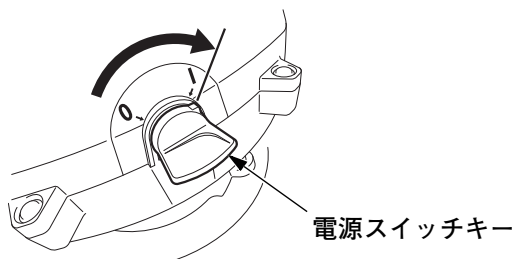
モーター始動

- 刈取り高さの調整（29 頁参照）および収納袋の脱着（37 頁参照）を行う場合、モーター始動の前に行ってください。

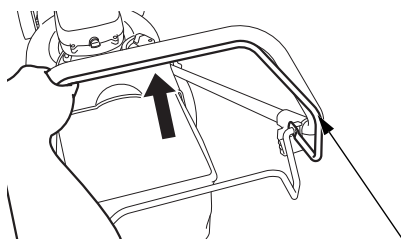
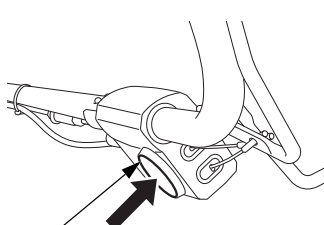
本機は、モータースイッチレバー（刈刃）を握るとモーター回転と同時に刈刃が回転します。

バッテリーが充電されていることを確認してください。

1. 電源スイッチキーを本機に取付けて（I）の位置に合わせます。



2. モーター操作ボタンを押しながら、モータースイッチレバー（刈刃）を握るとモーターが回転します。



3. モーターが回転を開始したらモータースイッチレバー（刈刃）を握った状態で、モーター操作ボタンを離してください。

⚠ 警告

モーターが始動すると刈刃が回転します。石などの異物があると、刈刃の回転力により石飛びが発生することがありますので、人身および物損事故が起きないように始動時には十分注意してください。

- モーターの始動は、芝高さが低く芝刈機が安定する平坦な場所で行ってください。

運 転 操 作 の し か た

芝刈り作業をする前に必ず「安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう」の項目を良くお読みになり芝刈り作業をしてください。

取扱いのポイント

使用中に音、におい、振動などで異常を感じたらただちにモーターを停止し、お買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。

1 刈取り高さの調整

⚠ 警告

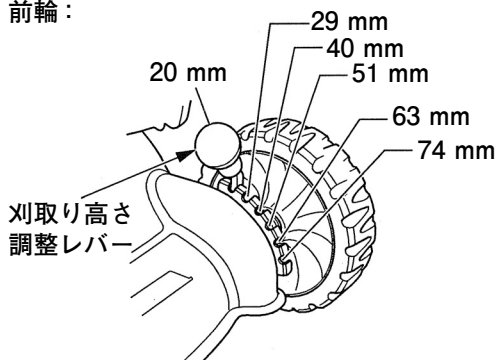
刈取り高さの調整をするときは、モーターを停止し、各部の回転が止まっていることを確認してください。また誤ってモーターが始動しないように電源スイッチを抜いてください。

刈取り高さ調整レバーにより 6 段階（約 20 ～ 74 mm）まで調整ができます。調整レバーは前輪、後輪ともに左側にあります。

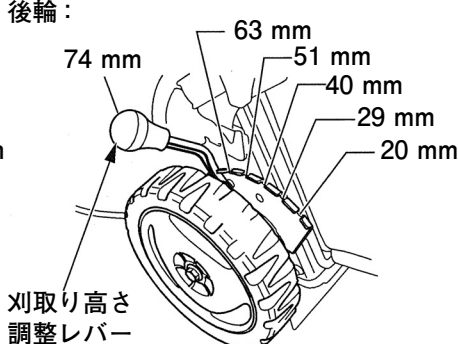
《調 整》

1. 厚手の手袋をし、本機を少し持ち上げてください。
 2. レバーをタイヤ側に引き、調整溝に入れてください。
- 伸びた芝を刈取る場合は最初に刈取り高さを高くして刈取り、次に刈取りたい高さまで低くして刈取ってください。

前輪：



後輪：



取扱いのポイント

- ・ 刈取り高さ調整レバーは前輪、後輪とも同じ位置にしてください。芝刈機が不安定になったり、仕上がりが不均一になることがあります。
- ・ 確実に調整レバーが溝とかみ合っていることを確認してください。
- ・ 芝地の条件により、刈取り高さは多少変化することがあります。

2 刈取り芝の処理方法選択

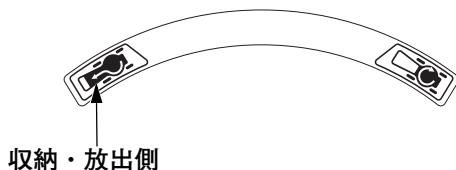
刈取った芝の処理方法は、3 通りから選択できます。

- ・ 収納：刈取った芝を収納袋に収納します。
- ・ 放出：刈取った芝を後方へ排出します。
- ・ マルチング：刈取った芝を刈取り面へ戻します。

選択した刈取り芝の処理方法により、収納袋の着脱およびクリップディレクターレバーの操作を行ってください。

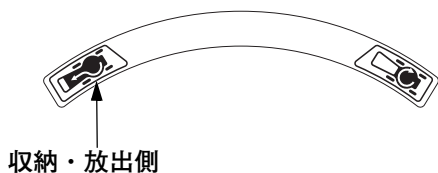
《収 納》

1. 収納袋を取付けます。(取付けかたは 37 頁参照)
2. クリップディレクターレバーを収納・放出側に合わせます。(操作は 12 頁参照)



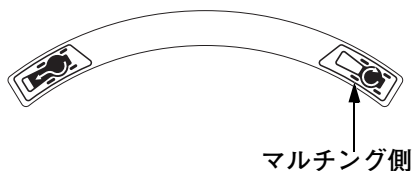
《放 出》

1. 収納袋を取外します。(取外しかたは 37 頁参照)
2. クリップディレクターレバーを収納・放出側に合わせます。(操作は 12 頁参照)



《マルチング》

1. 収納袋を取付けます。(取付けかたは 37 頁参照)
2. クリップディレクターレバーをマルチング側に合わせます。(操作は 12 頁参照)



③ モーター始動

モーター始動要領に従ってモーターを始動します。(28 頁参照)

取扱いのポイント

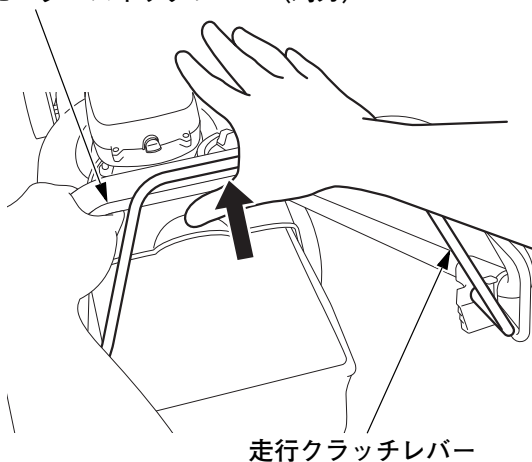
- ・ モータースイッチレバー (刈刃) とハンドルはしっかり握ってください。
- ・ 刈刃の回転に異常がある場合は、お買いあげ販売店またはサービス指定店で、点検・修理を受けてください。

④ 運転操作

モータースイッチレバー (刈刃) を握った状態で走行クラッチレバーを前方に操作すると本機が自走します。モータースイッチレバー (刈刃) を握った状態で走行クラッチレバーを離すと本機の自走は止まります。

また、方向転換などで後方へ動かす際は、走行クラッチレバーを離してください。

モータースイッチレバー (刈刃)



⚠ 注意

本機から離れる場合は必ずモータースイッチレバー (刈刃) を放し、“停止” 位置にしてください。また、モーターが始動しないように電源スイッチキーを抜いてください。

5 刈取り作業

刈取り作業は、《自走刈り》と《手押し刈り》とを選択できます。《自走刈り》は下記、《手押し刈り》は 34 頁を参照してください。

《斜面》および《起伏》での刈取り作業は、35 頁を参照してください。

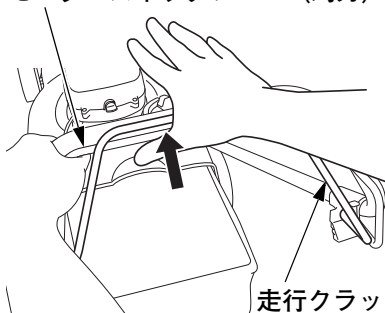
⚠ 警告

- ・作業中に本機または刈刃が障害物に当たったときは、モーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外してから、本機に損傷がないことを確認してください。そのまま作業を続けると損傷した部品が飛散し大ケガをするおそれがあります。
損傷した部品を交換するときは、お買いあげ販売店またはサービス指定店にご相談ください。
- ・急な斜面や起伏の激しいところでは作業しないでください。斜面や起伏のあるところでは本機が安定せず転倒するおそれがあります。
- 芝床のでこぼこが大きいときは刈取り高さを高めに調整してください。
でこぼこの状態によっては芝を短く刈り過ぎて、芝を傷めることがあります。
- 刈刃の状態や、芝の長さによってはモーターにかかる負荷が大きくなりモーター回転数が低下し、刈取り仕上がが悪くなります。
刈刃の手入れを行う、または刈取り高さを調整して数回に分けて刈ってください。

《自走刈り》

モーター操作ボタンを押しながらモータースイッチレバー（刈刃）を握り、モーターの回転が安定したところで、走行クラッチレバーを握り、刈取り作業を行います。

モータースイッチレバー（刈刃）



⚠ 注意

- ・作業中はハンドルをしっかり握り、足元に十分注意し、本機の色速度に合わせ行ってください。芝は滑りやすく転倒するおそれがあります。
- ・走行クラッチレバーを握りながら本機を後ろに引っ張らないでください。本機が故障するおそれがあります。
- 方向転換は、走行クラッチレバーを放し、ハンドルを押し下げながら前輪を少し浮かして行います。前方の飛散物に注意しながら行ってください。

《手押し刈り》

モーター操作ボタンを押しながらモータースイッチレバー（刈刃）を握り、刈刃の回転が安定したら本機を手で押して作業します。（このとき走行クラッチレバーは使用しません）

⚠ 注意

作業中はハンドルをしっかり握り、足元に十分注意し、走らないで行ってください。芝は滑りやすく転倒するおそれがあります。

刈取り作業が可能な時間（バッテリー持続時間）は芝の状態、刈取り高さ、作業中断の頻度で変化するので、刈取り作業が可能な範囲（バッテリー持続時間）も変化します。

刈取り作業が可能な範囲（バッテリー持続時間）を広げたいときには、刈取り高さを高くして手押し刈りをするとう効果的です。

本機にはモーターを保護するための自動停止機能があります。障害物などにより過度な負荷がかかり、モーターの温度が高温になるとモーターが停止します。その場合は下記の手順にて再始動を試みてください。

(1) モーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外します。（27、38 頁参照）

(2) 刈刃を停止させた原因（障害物など）を取除く。

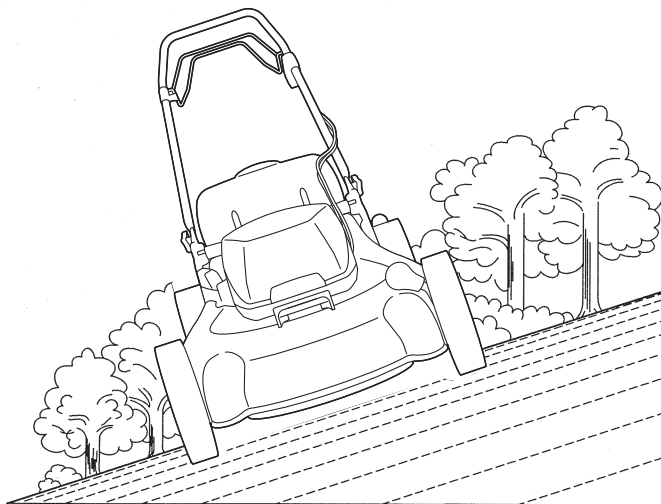
(3) 始動手順を行う。（28 頁参照）

※ 手順 (3) にて始動できなかった場合、本機を風通しのよい場所などに約 30 ～ 60 分程度置き、モーターを冷まして再度始動を試みてください。それでも始動しない場合はお買いあげ販売店またはサービス指定店にご相談ください。

- ・ 長く伸び過ぎた芝を 1 回で低く刈ると、刈刃に過度な負荷がかかり、モーターを保護する機能が働き、モーターが停止することがあります。長く伸び過ぎた芝を刈るときは、本機の刈取り高さを高い位置に調整し、複数回に分けて低く刈ってください。

《斜 面》

- ・ 斜面での芝刈りは上下方向ではなく、横方向（等高線方向）に行ってください。
- ・ 斜面上での方向転換は十分注意を払ってください。
- ・ 急な斜面では本機を使用しないでください。



《起 伏》

- ・ 起伏の多い所での芝刈りは足元に十分注意してハンドルをしっかりと握り作業をしてください。

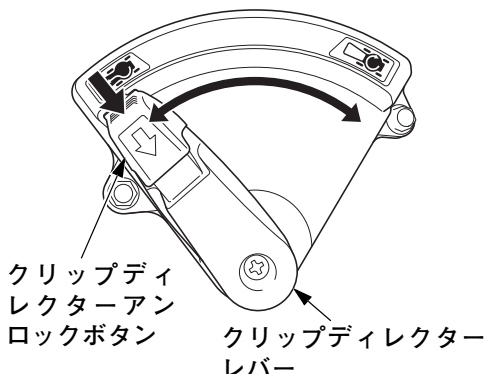
《マルチングについて》

本機はクリップディレクターレバーを操作することにより、マルチング（刈取った芝を刈取り面へ戻す）を行うことができます。クリップディレクターレバーを収納・放出側に合わせると、マルチングはできません。

1. 収納袋を取付けます。(37 頁参照)
 2. クリップディレクターアンロックボタンを押し下げながらクリップディレクターレバーを移動し、マルチング側に合わせます。
 3. テストで少しだけ芝を刈ります。(33 頁参照)
 4. 刈取り面の仕上りを確認してください。
- 刈取り面の仕上りは、マルチングした芝が芝生の間からあふれないようにしてください。

収納・放出側

マルチング側



仕上り良い



仕上り悪い



取扱いのポイント

マルチング作業は、芝生の種類や密度、作業状況によっては、芝生の育成に悪影響をおよぼすおそれがあります。

6 収納袋の脱着

⚠ 警告

収納袋の脱着は、必ずモーターを停止してから行ってください。刈刃カバー内の石などの異物が飛び出し大ケガをするおそれがあります。

《取外しかた》

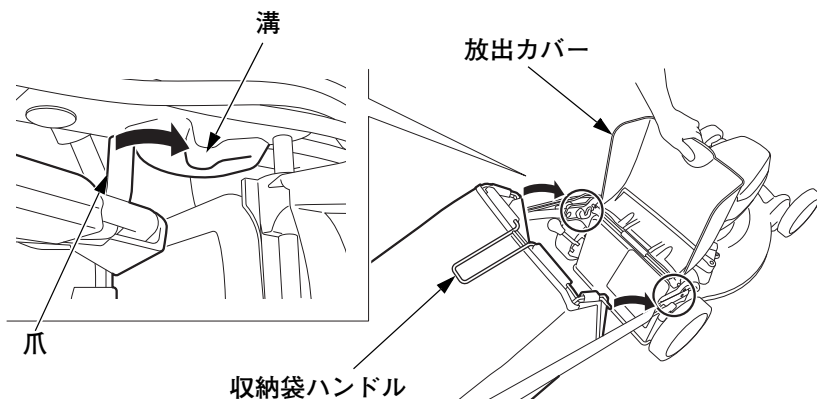
1. 本機の放出カバーを開きます。
2. 収納袋ハンドルを持ち上げながら後方に引いて取外します。

《取付けかた》

1. 本機の放出カバーを開きます。
2. 収納袋のフレーム先端の爪を刈刃カバーの溝に合わせて取付けます。

⚠ 警告

- ・ 収納袋が確実に取付けられていることを確認してください。作業中に外れると放出物によってケガをするおそれがあります。
- ・ 収納袋は布製です。すり切れ、破れ、縫い目のほころびなど収納袋が損傷しているときは新しいものに交換してください。石などの異物が飛散しケガをするおそれがあります。



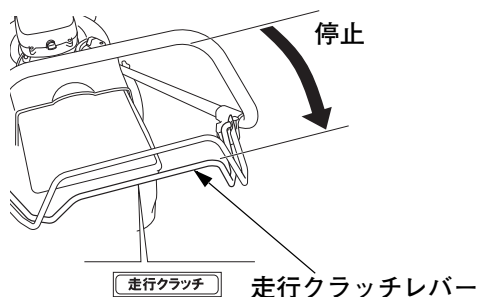
取扱いのポイント

収納袋が目詰まりしていると収納能力が落ちます。
水洗いをし十分に乾燥させて使用してください。

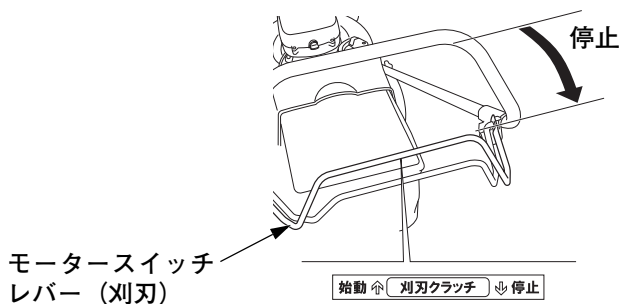
通常停止の場合

《自走刈りの場合》

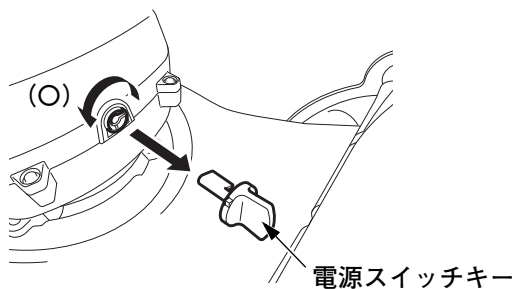
1. 走行クラッチレバーを放します。



2. モータースイッチレバー（刈刃）を放し、“停止”の位置にすることでモーターが停止します。



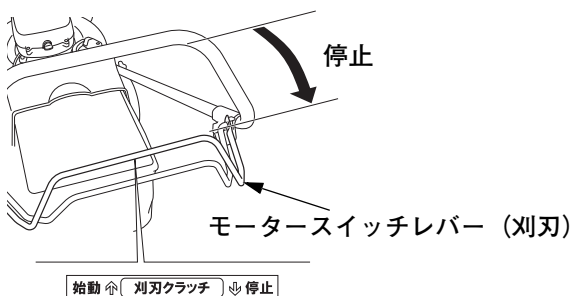
3. 電源スイッチキーの位置を (O) に合わせて電源スイッチキーを抜きます。



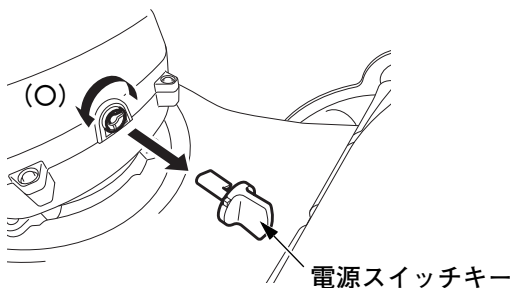
必要に応じてバッテリーを取外してください。

《手押し刈り時の場合》

1. モータースイッチレバー（刈刃）を放し、“停止”の位置にすることでモーターが停止します。



2. 電源スイッチキーの位置を (O) に合わせて電源スイッチキーを抜きます。



必要に応じてバッテリーを取外してください。

緊急停止の場合

モータースイッチレバー（刈刃）を放し、“停止”の位置にすることでモーターが停止します。

定期手入れを行いましょう

定期点検整備項目

お買いあげいただきました芝刈機をいつまでも安全で快適にお使いいただくために定期点検を行いましょう。

点検項目		点検時期 (2)		作業前点検	1 年毎 または 100 時間 運転毎	2 年毎 または 150 時間 運転毎	参照頁
刈刃ボルトの締付け	点検	●					19
刈刃の状態	点検	●					17
収納袋	点検	●					19
走行クラッチケーブル	点検	●					41
	調整・必要に応じて交換		●				41
モータースイッチレバー (刈刃) ケーブル	点検	●					42
ドライブベルト	点検・必要に応じて交換				● (1)		—
後進用リアホイール ラチェット機構	潤滑		● (1)				—
モーター冷却フィン	清掃	●					20
バッテリー周辺	清掃	●					20
モーター回転状態	点検	●					21
本機廻りの点検、各部の清掃	点検・清掃	●					16, 24

(1) これらの項目は適切な工具と整備技術を必要としますので、お買いあげ販売店または、サービス指定店で実施いただく項目です。

(2) 点検時期は表示の期間毎又は時間運転毎のどちらか早い方で実施して下さい。

走行クラッチケーブルの点検、調整

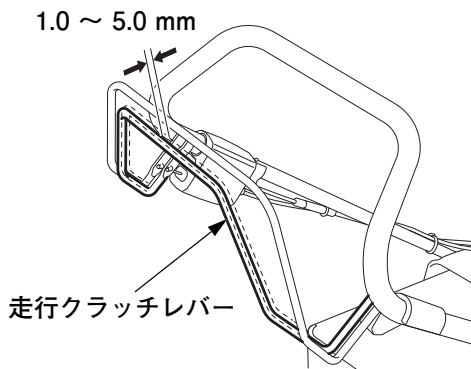
走行クラッチケーブルの調整は、お買いあげの販売店またはサービス指定店にご相談ください。ご自身で作業する場合は以下の手順で行ってください。

走行クラッチケーブルの調整が正しくないと、クラッチが滑り走行できません。

《点 検》

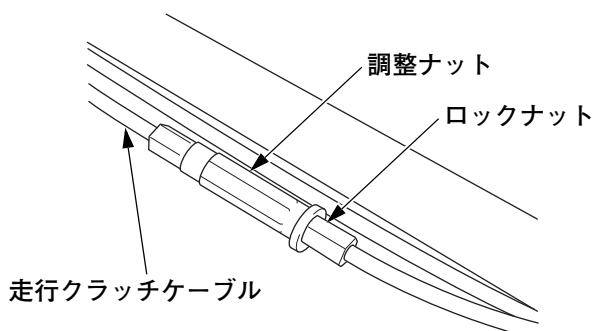
走行クラッチレバー先端の遊びを確認します。

規定値：1.0 ～ 5.0 mm



《調 整》

1. 調整は、ロックナットをゆるめてから調整ナットを回して行います。



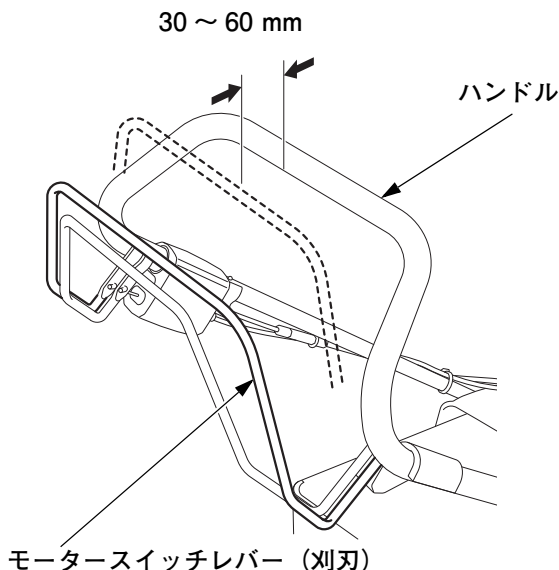
2. 調整後、モーターを始動し走行クラッチレバーが正しく動作することを確認してください。走行クラッチレバーを握ると本機は走行し、放すと止まります。
3. 上記方法で調整しても走行しない場合は、お買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。

モータースイッチレバー（刈刃）の作動点検

《点 検》

モーターが始動する位置が、モータースイッチレバー（刈刃）の先端からハンドルまで 30 ～ 60 mm になっていれば正常です。

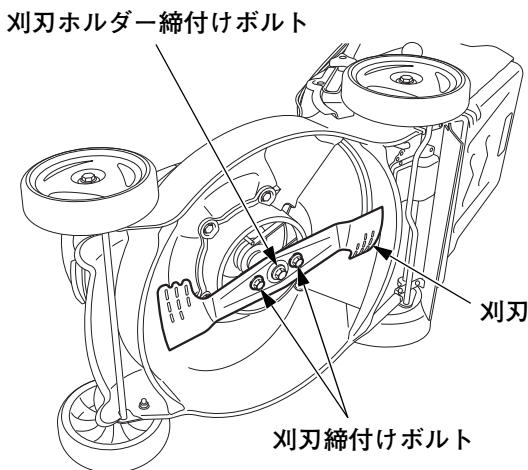
モーターが始動する位置が規定の範囲内にならない場合はお買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。



長 期 間 使 用 し な い と き の 手 入 れ

長期間使用しない場合、または作業を終了して長期間格納する場合は次の手入れを行ってください。

- ①電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外してください。
- ②本機を右側に傾斜させ、刈刃および各部を清掃し、各ボルトの締付けがゆるんでいないことを確認してください。刈刃全体にエンジンオイルを塗布してください。



③ 収納袋を取外し、清掃してください。

収納袋が目詰まりをしているときは、水洗いをし、十分に乾燥させてから取付けてください。

④ カバーをかけ、風通しの良い場所に保管してください。

取扱いのポイント

本機の上にものを置かないでください。

本機とバッテリーは乾いた安全な場所で保管してください。

故 障 の と き は

まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常があるときは、むやみに分解しないで買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。

⚠ 注意

本機に異常を感じた場合はただちに作業を中止し、モーターを停止させ、電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外してから、各部を点検してください。

始動しないときは次の点を確認しましょう。

1. 始動方法は取扱説明書通りであること。
 2. モータースイッチレバー（刈刃）が確実に握られていること。
 3. バッテリー残量があること。
 4. 電源スイッチキーの位置が（I）であること。
1. モータースイッチレバー（刈刃）を放してもモーターが止まらないときは、
 - モータースイッチレバー（刈刃）が確実に“停止”位置になっていることを確認してください。
 - モータースイッチレバー（刈刃）先端からハンドルまで 30 ～ 60 mm あることを確認してください。
 - 電源スイッチキーを抜き、バッテリーを取外し、モーター停止状態で、買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。
 2. 走行クラッチレバーを放しても止まらないときは、
 - 走行クラッチケーブルの遊びが正しく調整されていることを確認してください。（41 頁参照）
調整しても異常がある場合は買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。
 3. 芝刈作業時、芝の刈跡が悪いときは、
 - 刈刃に異常がないことを確認してください。（17、18 頁参照）
 4. 芝刈作業時、収納袋周りから芝が吹き出すときは、
 - 収納袋がきちんと本機に装着されていることを確認してください。
 - 収納袋にすり切れ、破れ、縫い目のほころびなど損傷がないことを確認してください。

☆上記項目で調整が必要な場合は、手順に従って調整してください。調整できない場合は、買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。

本機が作動しない

原因	処置
バッテリーが充電されていない。	バッテリーを充電してください。
電源スイッチキーが始動位置でない。	電源スイッチキーが (I) の位置であることを確認してください。
バッテリーが接続されていない。	バッテリーがしっかり接続されていることを確認してください。
バッテリーが高温か低温である。	バッテリーを常温にしてください。バッテリー残量インジケータを確認してください。(23 頁参照)
バッテリー不良。	バッテリーを新品に交換してください。

本機の作動が正常でない

原因	処置
内部配線が破損している。	お買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。
過電圧検知装置が作動している。	モーターを冷まして、芝刈り高さを高くします。
外部配線が破損している。	お買いあげ販売店またはサービス指定店にお申しつけください。

モーターが始動してすぐに停止する

原因	処置
バッテリーが充電されていない。	バッテリーを充電してください。
電源スイッチキーが始動位置でない。	電源スイッチキーが (I) の位置であることを確認してください。
バッテリーが接続されていない。	バッテリーがしっかり接続されていることを確認してください。
固く長い芝で刈刃回転が止まる。	電源スイッチキーを抜き、バッテリーを外してから芝を取り除いてください。
バッテリーが高温か低温である。	バッテリーを常温にしてください。バッテリー残量インジケータを確認してください。(23 頁参照)

バッテリーの使用できる時間が短い

原因	処置
芝刈りの高さが低すぎる。	芝刈りの高さを高くしてください。
芝の高さが高すぎる。	芝刈りの高さを高くしてください。
芝が密集している。	芝刈りの高さを高くするか、芝をより頻繁に刈り取ってください。
バッテリーの充電能力がなくなった。	バッテリーを新品に交換してください。
バッテリー残量が少ない。	使用前にバッテリーが充電されているか確認してください。

主要諸元

名 称	HRG466XB
全 長	1,470 mm
全 幅	497 mm
全 高	980 mm
刈 幅	460 mm
刈 高	約 20 ～ 74 mm （6 段階）
収 納 袋 容 量	50 L
乾 燥 質 量（重 量）※	27 kg

モーター

タ イ プ	3 相 DC ブラシレス
最 大 出 力	1800 W
無 負 荷 回 転 数 (刈刃装着時)	2,800 ± 40 rpm

注意：諸元は、予告なく変更することがあります。

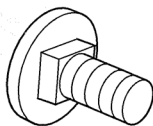
※：バッテリーを除く

同 梱 部 品 の 組 付 け か た

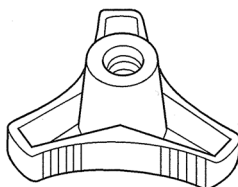
次の手順と要領で同梱部品を組付けてください。

なお、説明に使用しているイラストが一部実機と異なる場合がありますが、取付け方法は同じですのでご了承ください。

同梱部品リスト



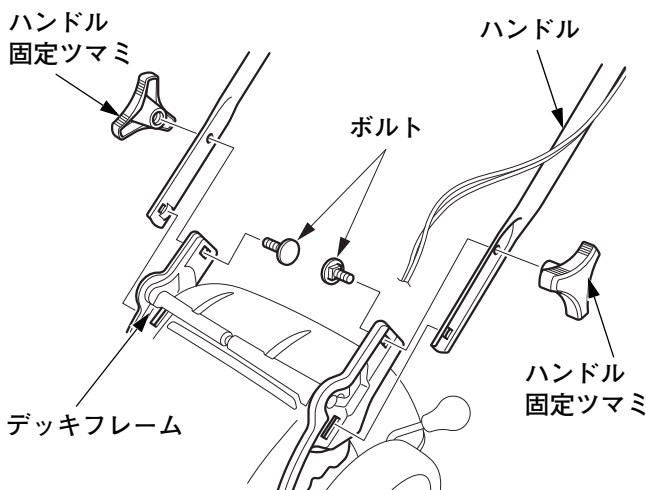
ボルト (2)



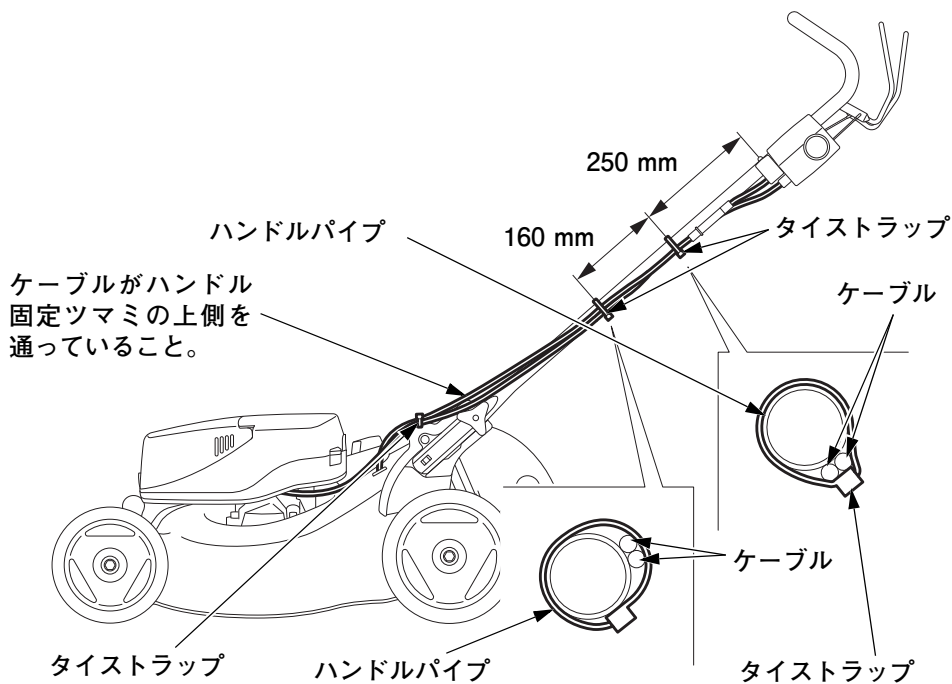
ハンドル固定ツマミ (2)

ハンドルの組付け

1. ハンドルを本体に取付ける前に、ケーブル（走行クラッチケーブルおよびモータースイッチレバー（刈刃）ケーブル）がハンドル左側の下方外側を通っていることを確認してください。（手順3の図参照）
2. ハンドルを2本のボルトと2個のハンドル固定ツマミで、デッキフレームに取付けます。

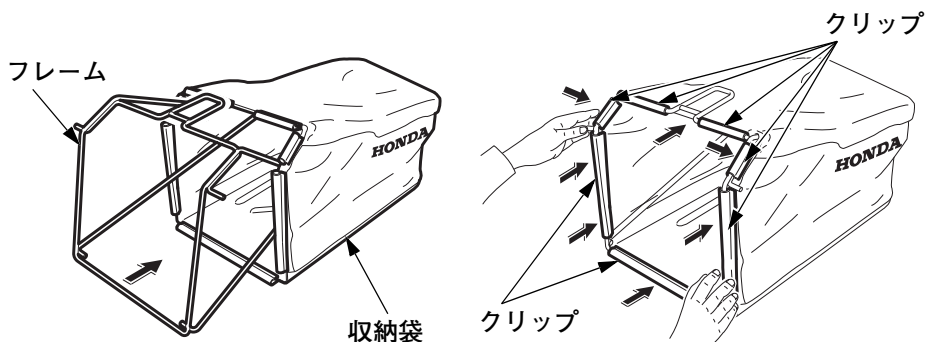


3. ケーブル（走行クラッチケーブルおよびモータースイッチレバー（刈刃）ケーブル）がハンドル固定ツマミの上を通り、図のようにタイストラップでハンドル左側に取付けられていることを確認します。



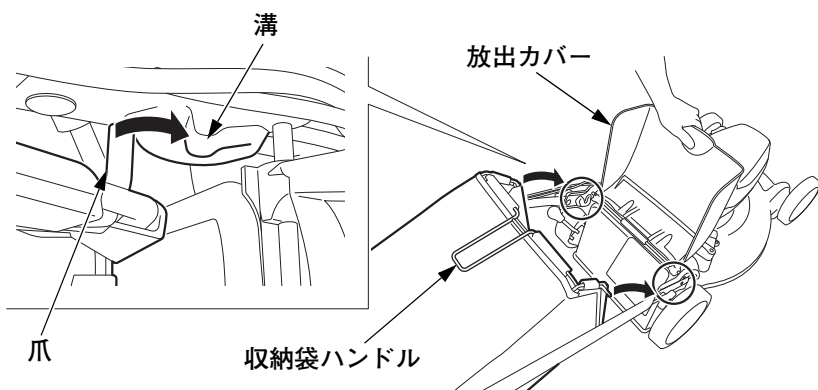
収納袋の組立

1. 収納袋のフレームを収納袋に差し込みます。
2. 収納袋のプラスチック製のクリップ（7箇所）をフレームにはめ込みます。



収納袋の取付け

1. 本機の放出カバーを開きます。
2. 収納袋のフレーム先端の爪を刈刃カバーの溝に合わせて取付けます。



本製品についてのお問い合わせ・ご相談は、まず、
Honda 販売店にお気軽にご相談ください。

販売店

TEL

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0 1 2 0 - 1 1 2 0 1 0

受付時間 9:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00
〒 351-0188 埼玉県和光市本町 8 - 1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

本製品に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- (1) 製品名、タイプ名
- (2) ご購入年月日
- (3) 販売店名
- (4) フレーム号機 _____ (書込み控え欄)

HONDA